

県民の森だより 9月号

2013年9月号 宮城県陸奥町神谷沢字菅野沢41 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801

クズの花の甘い香りが漂い、秋の気配が感じられるようになりました。セミ時雨から秋の虫たちの合唱に変わりゆく季節でもあります。散策にはほど良い季節になりましたので、秋の七草（ハギ・ススキ・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ）を探しながら、園内の自然をお楽しみください。

9月のイベント情報

日	時	イベント名	集合場所	申込要件	参加料
9/8(日) 15(日) 22(日)	10:00~13:00	もりもり教室	青少年の森	事前申込親子	8日250円 15日150円 竹馬1000円/個 ほっくり300円/個 22日250円 子供服特 込 300円/1点
9/11(水) 25(水)	10:00~12:00	※ノルディックウォーク & ミニ植物観察	県民の森	初心者 第2水曜日 経験者 第4水曜日	レンタルボール350円 マイボール持参250円
9/21(土)	9:00~12:00	※季節を楽しむハイキング	県民の森	特になし	250円
9/28(土)	9:30~13:00	※森の癒し体験	県民の森	特になし	500円
予告10/12(土)	9:30~12:00	※万葉植物観察会	県民の森	特になし	300円

申込・問い合わせ：宮城県森林インストラクター協会 TEL：022-255-8223 ※は県民の森管理事務所：TEL：022-255-8801

ハチの活動期 散策時には無闇な刺激に要注意！



今年も刺症被害が報道されています。スズメバチやアシナガバチの巣は、夏から秋にかけて規模が最大になります。スズメバチは縄張り意識が強く、巣の周辺に近づいただけで威嚇・攻撃行動が活発になります。「ハチ」＝「刺す」と思われがちですが、無闇に刺すわけではなく巣に外敵が近づいたり攻撃を受けた場合への反撃行動です。出会ったら、静止してハチが飛び去るまで待ち、その後静かに低い姿勢で遠ざかります。手で追い払ったり、身体を左右に動かす動作は攻撃と見なされ敏感に反応するので厳禁です。刺されないためには、黒系統の服装や香りを発する化粧・香水・整髪料は避けましょう。飲み残しの甘いジュース缶も要注意です。(写真左：コガタスズメバチの巣 右：アシナガバチの巣)

を発する化粧・香水・整髪料は避けましょう。飲み残しの甘いジュース缶も要注意です。(写真左：コガタスズメバチの巣 右：アシナガバチの巣)

季節の移ろい：キリギリス&コオロギ・ミスヒキ

秋の昆虫の特徴はその美しい鳴き声にあります。鳴く昆虫のほとんどがオスで、鳥のようなさえずりではなく羽根をこすり合わせて音を出します。鳴く昆虫には①ひとり鳴き②口説き鳴き③おどし鳴きの3種類の鳴き方があり、いずれも求愛行動といわれています。オスとメスの見分けは、メスには産卵のための長い産卵管が腹部の先にあるので容易です。



キリギリス (キリギリス科)

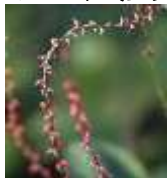
「チョン・ギース」と屋間に鳴くことで知られ、キリギリス科では数少ない昼行性昆虫です。緑色と茶色の体色なので野外で見つけるのは意外と難しく、草の上で鳴いていることが多くかなり敏感です。肉食で葉の影に隠れて昆虫が近づいてくるのをじっと待ち、大きなトゲのついている前足で捕獲します。キリギリスは羽根を縦にこすって音を出します。



コオロギ (コオロギ科)

秋の虫の代表ともいえるコオロギは、その容姿は決して美形とは言えませんが、「コロコロコロリー」という鳴き声は秋の風物詩として欠かすことができないものです。コオロギは上の右前羽根の裏のヤスリの部分と下の左前羽根の表の「まさつ片」と呼ばれる部分を左右こすり合わせて音を出します。古くはセミも含めて鳴く昆虫は、その総称としてコオロギ(蟋蟀)と呼ばれていたようです。

ミスヒキ (タデ科) 水引



ミスヒキは、日陰がちな林縁などに生え草丈40~80cmに。花はまばらに長い穂状につき、花弁状の萼(がく)が4個で、上半分は紅色で下半分が白色です。花穂を上から見ると紅く見え、下から見上げると白く見えるので、この紅白の特徴を祝儀袋の紙糸の水引に例えました。熟した果実はカギ形に曲がって残った花柱が衣服や動物などにひっつき、いわゆる「ひっつきむし」として運ばれます。タデ科の中では花柱が果期にも残るのはミスヒキの仲間だけです。

今月の万葉植物

ヘクソカズラ (アカネ科) ・尿葛・くそかすら



さう英に 延ひおほとれる 尿葛 絶ゆることなく 宮任せむ (高宮王)
 歌 意：ここでいう「さうけう」はジャケツイバラないしサイカチのこと。「サイカチの木に絡みついて広がって、乱れているヘクソカズラの鳥のように、絶えることなく未永く宮中に仕えよう」。
 花一ロメモ：ヘクソカズラは古くから悪臭のする植物としてよく知られていたようです。釣鐘状で白い花びらの中心部が紅紫色の可憐な花には、早乙女花とか灸花などの上品な別名のほうが似合います。灸花は昔の子供達はこの花を摘んで手足に貼り付け遊び、それが灸をすえた様子や、紅紫色の部分がお灸の跡に似ていることから付いた名前です。